

公開講座「環境都市工学入門 ―QGIS を使って自分だけのハザードマップを作ろう―」を開催

岐阜高専は、8月18日（火）に公開講座「環境都市工学入門 ―QGIS を使って自分だけのハザードマップを作ろう―」を開催しました。

本校の環境都市工学科の教職員と学生が講師を務め、17名の小中学生が参加されました。

本講座は、環境都市工学科の授業「空間情報工学」の内容を体験するものです。参加者は、本校の情報演習室のパソコンを使い、地理情報システム（GIS）の1つである「QGIS」を操作しながら、身近な地域を対象に自分だけのハザードマップの作成に取り組みました。

参加者の皆さんは、熱心に地図づくりに取り組み、個性豊かなハザードマップができあがりました。また、午後も引き続き地図作りに取り組んでいる参加者も見られました。

参加者からは、「楽しかった」「自分が住んでいる地域についてどのくらい浸水するかわかった」「地図上の浸水深が、打ち込むだけで色分けされたので、その基準や測定方法を学んでみたい」などの感想が寄せられました。



公開講座のようす